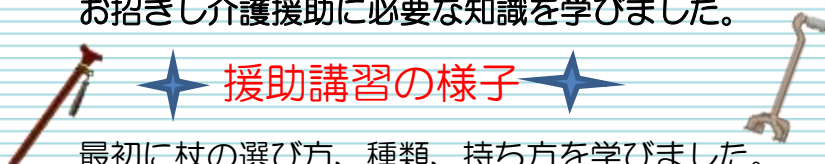


第4回フォローアップ講習会（介護）

「車椅子と杖の介助法」



平成29年10月4日（水）10時より提供会員さんを対象に第4回フォローアップ講習会を開催しました。日本赤十字愛媛支部 荒木 美喜先生を講師にお招きし介護援助に必要な知識を学びました。



★ 援助講習の様子 ★

最初に杖の選び方、種類、持ち方を学びました。

実際2人1組で 足に60cm位の装具をつけ、廊下・階段も歩いてみました。

平坦な所では

- 介助者は後ろから両手で腰を支えると安定します
- 歩行が安定したら、患側（麻痺等があり不自由な側）の斜め後方からいつでも支えられる状態で見守ります



階段では

- 健側（麻痺等のない側）の足に体重をかけると安定するので階段を昇るときは健側の足、降りる時は患側の足を先に出します。
- 手すりがあれば手すりを持つ方が安定します。
- 介助者は、昇り降りとも一段下で患側から支えるか見守りをします。特に降りる場合は気を付けます。



次に車椅子の介助法を学びました

車椅子の種類、各部の名称と機能、乗り方、押し方、使う時の注意点等々



車椅子の広げ方

- ①ブレーキが掛かっているか確認する。
- ②車椅子の横に立ちアームレストを両手で外側に開く。
- ③車椅子の前に立ち両手をハの字にしてシートを押し下げる。

★ 車椅子を押す時の注意点 ★

- 声をかける。
- 急に動かさない。
- スピードを出さない。
- ハンドグリップから手をはなさない。
- 車椅子から離れる時は必ずブレーキをかける。



★新玉公園に移動して段差の移動を体験しました★



段差の移動時の操作・・・キャスター（前輪）上げと移動

- ①ティッピングバーを踏みキャスターを浮かせる
- ②手でハンドルを後方に押し下げる
- ③降ろす場合はステッピングバーを踏みながらそっと降ろす

講座を終えての感想

- ★実際に公園で車椅子を使う体験ができて大変勉強になった。
- ★車椅子はゆっくり歩いてあげないといけない事がよくわかった。
- ★乗る前にはブレーキとフットレストを確認する。
- ★ブレーキをかけずに乗ると大変危険なことがよくわかった。
- ★負傷している方や障害のある方を見かけたら勇気をだし声をかけしてお手伝いしたいと思った。